

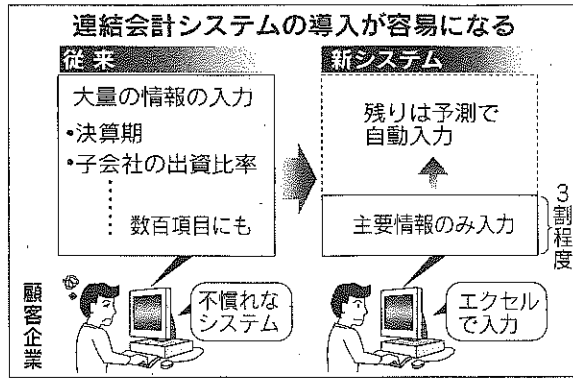
# 連結会計、1カ月で導入

## 設定の大半自動化

価格を半減

IT（情報技術）会計システム開発のレイヤーズ・コンサルティング（東京・中央、杉野尚志社長）は、従来の4分の1以下の1カ月で導入できる連結会計システムを開発した。導入時に必要な設定の大半を自動化した。導入費用も従来のシステムに比べて半額程度になる。海外に進出する中堅・中小企業の増加に対応する。月内に発売し、来年9月までに30件の採用を目指す。

## レイヤーズがシステム



レイヤーズによると、数百項目にわたる設定が一般に連結会計システムを導入する場合、決算期や子会社の資本構成などを必要で、導入に4〜6カ月かかっていた。新システム「ジン・ツ

IFast」は、顧客が連結対象の会社名など必要最低限の情報を入力すると、利用通貨や決算期

など残りのすべての項目はシステム側で予測して自動入力されていく。顧客

が自ら入力する情報量は従来に比べて3割程度で済むという。業種ごとに最適化したひな型を用意しており、実証試験の結果、予測による自動入力の8割程度は正しい値が示されたと

いう。最終的に入力された値に誤りがないかどうかを、公認会計士などの資格を持つレイヤーズの担当者が確認・修正する。顧客の入力作業を簡便にするため、顧客側では米マイクロソフトの表計算ソフト「エクセル」を使う。価格も同社の従来製品の半額以下の400万円を提供する。

連結会計システムは大企業の間で導入が進んでいるが、従業員が1000人未満の中堅・中小企業での導入は進んでいないという。同社は新システムを子会社の数が20社以下の中堅企業を中心に売り込む考えだ。レイヤーズは社内に約20人の公認会計士が在籍し、企業向けコンサルティングや会計システム構

築を手掛ける。原価計算や販売管理などのシステムも手掛け、自動車メーカーを中心に国内で300社の顧客を抱える。2012年9月期の売上高は27億円だった。